

井戸端 市民通信

月刊

読者のみなさんのページです。最終面に掲載している広報クイズの答えと一緒に、気ままなひとこと、ちょっと言いたいひとことを、お待ちしております。

読者の伝言板

敬称略

● 数年間、土崎の港曳山まつりに出かけていましたが、戻り曳山を見たのは初めてでした。勇壮さに圧倒されました。町内ごとのおはやしや踊りも素晴らしかった。来年はじっくり見物したいです(東條こずえ 27歳・飯島)

● キ子 58歳・寺内
時あたかも二十一世紀。広報あきた表紙の市長のお姿も新鮮です。世界の人が集うスポーツの祭典「ワールドゲームズ」も開催され、今年は何も感じない秋田です(幸野力ヨ子 77歳・榎山)

● 一歳四か月の娘を土崎の港曳山まつりに連れて行きました。武者人形を見て泣くのかな?と思っていたら、一生懸命「こんにちば」。しかも、ヨイショ、ヨイショ」とかけ声をかけて、おもしろかったです(佐々木香 27歳・新屋)

● 広報の表紙がカラーになってから、秋田市全体が明るくなったような気がします。クイズが当選すれば自分も明るくなれます。どうか当選しますように(村山恭一 63歳・広面)

● 伝統の竿燈まつりも無事盛況に終わりましたね。六年生の孫が小若の差し手で出場するというので毎晩通い、肩にうまくあがったのを見て感嘆、家族みんなで感動した竿燈まつりでした(松村隆 69歳・千秋)

● 手形中谷地にある市民菜園を楽しんでいます。今年は雨が多かったです。今年も実がつかず収穫ゼロでした。秋の収穫を夢みて、何を植えようか勉強を始めました(金重男 68歳・手形)

● 一市民として、新市長さんに一言。未来の子どもたち、若者たちのために、安心して住み良い街、活気ある街づくりをぜひお願いします(阿部ミ)

● 町内の狭い道を二歳の息子と手をつないで歩いていると、車がスピードをだしてブーン! 怖くて絶対手を離せません。ドライバーのみなさん、道路わきに子どもをみかけたら、まずブレーキでス

地域のお話 おしえて!!

このコーナーでは、町内や地域のいろいろな話題を紹介していきます。耳よりのニュースがありましたら、広報課までお知らせください。

☎(866)2034 FAX(866)2287

秋田市日本語教室

日本語の勉強で心が通い合うために

秋田市日本語教室は、秋田で暮らす外国出身者に、生活するために必要な日本語を楽しく勉強してもらおうと、今年4月、市内にある3つの日本語教室の有志が集まって発足しました。

受講生は、留学生や会社員、主婦など現在17人。外国出身のかたと市民との交流がうまくいくようにお手伝いし、秋田に住んで良かったなとお互いに感じ合えるま

にするのが目標です。教室の、笑顔が絶えず、アットホームな雰囲気からその思いが伝わってきます。

これまで皆勤賞という中国出身の徐峰さん(大学院生)は、「日本語はカタカナ語を覚えるのが難しいです。でも、先生がテキストだけでなくチラシなども使って普段の生活で使う言葉をわかりやすく教えてくれるので、毎週この教室が楽しみです」と話してくれました。



外国人のための日本語教室は、毎週木曜日(2学期は9月6日開始)午後6時30分~8時、ジョイナスで開催。日常会話や読み書きなど受講生のニーズに合わせたクラス分け。会費は月1,000円、教材費は年3,000円程度。

申し込み 代表の佐々木順子さん

☎(832)7072